

===樹脂・表面反応型・透明固着被膜化剤===

「バイオミセルUB-104」

練込みで帯電防止性能を付与できない樹脂表面へ
表面に帯電防止と防曇性を安定的、半永久的に付与可能



バイオミセル UB-104 の製品姿
(4リットル缶)

★ バイオミセルUB-104の性能発現処理方法 ★

本品を樹脂製品対象物の面に首尾よく展着し、確実に反応固着させて
半永久的に有効な帯電防止作用と防曇性能を付与させるための手順。

- 1) 必ず常温で、本品の液体を表面に付着させる。
(全表面を上部から流し塗りするか、または、必要とする面だけを刷毛塗りする。もしくは均一に吹き付けるか、超薄膜を形成させるためにスピコート処理等をする。又は、液を含浸させたマット面を通過させて液体を万遍なく付着させる。)
- 2) 対象面で本品のエマルジョン溶液の付着状態の均一性が得られた後、処理表面を60℃～80℃位の環境に1～2分静置させて、連続相成分の中の溶媒の水を乾燥させる。
- 3) 処理対象面が乾燥すると無色透明な三次元膜が作られ、同時にきれいに固化、接着します。
- 4) 大きな巻き取りシートなどの製造工程中、製品が60℃以上の温度条件にある場合には、その場で本品を均質に展着することを行う事で、反応、固化、接着が合理的になされる可能性があります。
注) ※、射出製品についても同様です。

★ 処理済製品の性能例、★



- * LED 照明器具で汚れへの防汚性能
上の管：既存のままの管の汚れ状態
下の管：塗布後１年間後も変わらず

- * 樹脂鏡面の結露付着状態
左側：既存のままの表面（水滴の曇り）
右側：塗布済の面

★ UB-104 塗布した各種表面処理物の帯電防止性能データ ★

- 1 ABS樹脂板 : $3.2 \times 10^{10} \Omega/\square$
- 2 透明MMA樹脂板 : $5.0 \times 10^{10} \Omega/\square$
- 3 透明MMA樹脂円盤 : $6.3 \times 10^{10} \Omega/\square$
- 4 透明PC（ポリカーボネート）板 : $4.0 \times 10^{10} \Omega/\square$
- 5 加工変性PC成形物 : $4.5 \times 10^{10} \Omega/\square$
- 6 透明硬質PVC板 : $1.3 \times 10^{10} \Omega/\square$
- 7 透明PETフィルム : $1.0 \times 10^{10} \Omega/\square$
- 8 アルミ箔 : $1.3 \times 10^{10} \Omega/\square$
- 9 硬質ポリウレタンロー : $2.0 \times 10^{10} \Omega/\square$

★ 《 ビオミセルUB-104の組成 》

マトリックス成分 ———— 特殊アクリルウレタン
機能発現成分 ———— N・Bコンプレックス、高解離性電解質
連続相成分 ———— 半極性有機ホウ素化合物のミセル溶解液

★ 《 ビオミセルUB-104の性状 》

外観（20℃）：白色安定エマルジョン溶液 溶解性：水に稀釈溶解す
比重（20℃/4℃）：1,000~1,050 引火性：なし
PH（20℃、原液）：9.5±1.0

製造元：

株式会社 ボロン研究所

東京都荒川区東日暮里4-31-5 松崎ビル

Email：info@boron-labo.co.jp